

群馬県前橋市（国内 52 例目）の高病原性鳥インフルエンザ発生農場に係る
疫学調査チームの現地調査概要

令和 5 年 1 月 1 日に実施した現地調査により、以下のことを確認した。

1 農場の周辺環境・農場概況

- ① 当該農場は山の緩やかな斜面に位置し、農場の上側は畑、下側は水田であった。
- ② 農場周囲には、700m～1.6km の範囲に 6 か所と、2.4 km 地点にカモ類の生息するため池があり、コガモ、カルガモ、マガモ等が合計 500 羽確認された。
- ③ 当該農場は、4 棟の鶏舎があったが、発生鶏舎以外の 3 棟は現在使用されておらず、低床式のセミウインドウレス鶏舎 1 棟のみが使用されていた。発生時は背中合わせの直立 4 段 2 列ケージで採卵鶏 5 ロットが飼養されていた。

2 通報までの経緯

- ① 農場によると、通常 1 日当たり平均死亡羽数は 2～3 羽程度のところ、12 月 31 日の見回り時に発生鶏舎（通報時 592 日齢）の奥側の出入口付近のケージにおいて、鶏が約 40 羽まとまって死亡しているのを確認したため、家畜保健衛生所に通報したとのこと。
- ② 疫学調査時には、発生ケージ付近にもかたまつた死亡や衰弱が確認され、通路を挟んだ向かいのケージでも衰弱又は死亡した鶏が散見された。

3 管理人及び従業員

- ① 当該農場では、飼養管理を 1 名で行い、集卵作業は飼養管理担当者 1 名を含む 2 名が従事していた。

4 農場の飼養衛生管理

- ① 当該農場の衛生管理区域の境界に柵等の物理的な障壁は設置されていなかった。農場入口に位置する従業員用事務所の壁には立入禁止の標識が掲示されていた。
- ② 農場によると、従業員の自家用車を含む車両が衛生管理区域内に入退場する際には、消石灰帯により車両消毒を実施しているとのこと。
- ③ 衛生管理区域に入退場する際には、事務所で衛生管理区域専用作業着及び長靴の着用、手指消毒を実施していたとのこと。鶏舎手前の出入口では、長靴の踏込み消毒を実施し、鶏舎専用長靴への履替え及び手指消毒を実施していたとのこと。踏込み消毒槽の消毒薬は目分量で調製しており、消毒槽内が汚れてきた頃に適宜交換を行っていたとのこと。鶏舎奥側の出入口をごみ出しの際に使用する際には長靴交換、手指消毒は実施していなかったとのこと。
- ④ 飼料運搬業者は、来場時には車両を衛生管理区域外に駐車し、農場専用の長靴への履替え、手指消毒を実施し、消石灰帯を通過して入場するとのこと。農場専用作業着への更衣は実施されていなかった。
- ⑤ 飼料タンク上部には蓋が設置されており、鶏舎内のラインを通して自動で給餌できる構造となっていた。
- ⑥ 飼養鶏への給与水は井戸水を使用しており、消毒等は実施していないとのこと。
- ⑦ 鶏舎から集卵施設までは廃舎 1 棟を經由して集卵ベルトでつながっており、集卵施設の接続部分には扉が設置されていたが、鶏舎側の開口部にはシャッターが設置されていなかった。原卵は農場車両により GP センターに出荷しているとのこと。
- ⑧ 鶏糞は週に 2 回、鶏舎から除糞ベルトによりダンプに搬出、農場内の堆肥舎に運搬され、堆肥化处理されるとのこと。堆肥製品置き場は公道を挟んで位置するが、鶏糞・堆肥運搬用トラックの清掃や消毒は特に実施していないとのこと。除糞ベルトの稼働時以外は鶏舎内開口部を塞いでいたが、隙間が確認された。堆肥舎の入口に

は丈の短いカーテンが設置されており、常に開放されている状態であった。

- ⑨ オールイン・オールアウトは行っておらず、出荷後のケージについては、清掃のみで消毒は行わず、空舎期間は設けていないとのこと。廃鶏出荷に伴う捕鳥作業は廃鶏業者が行っており、捕鳥作業者は、農場専用の作業着及び長靴の着用、手指消毒を実施して鶏舎に入っていたとのこと。直近 21 日間の導入・出荷はなかった。
- ⑩ 集卵作業後の見回り時に回収した死亡鶏は、鶏舎内にある一輪車に載せ、蓋をして一時保管し、鶏糞に混ぜて堆肥舎に搬出していたとのこと。
- ⑪ 鶏舎側面上部の窓とモニターの外側には金網（網目 3～4 cm の亀甲金網）とその外側にロールカーテンが設置され、基本的にカーテンは閉じられていた。鶏舎内は手前側のクーリングパットから吸気し、奥側の換気扇から排気を行っていた。換気は、温度センサーにより自動制御されていた。
- ⑫ 他の農場と器具や機材等を共有することはないとのこと。

5 野鳥・野生動物対策

- ① 農場によると、鶏舎内でネズミは見かけないが、農場内では特に堆肥舎周辺などでカラスを多数見かけ、農場敷地内の果樹もカラス等の野鳥に食べられていることが多いとのこと。調査時、野鳥のものと思われる糞の跡が農場敷地内で多数確認された。
- ② 農場内ではネコやタヌキ、イタチを見かけることもあるとのこと。調査時、農場敷地内の草むらで獣道、空舎となっている鶏舎でネコが確認された。
- ③ 鶏舎屋根の軒下には破損箇所が確認され、鶏舎内からも穴が確認された。

(以上)